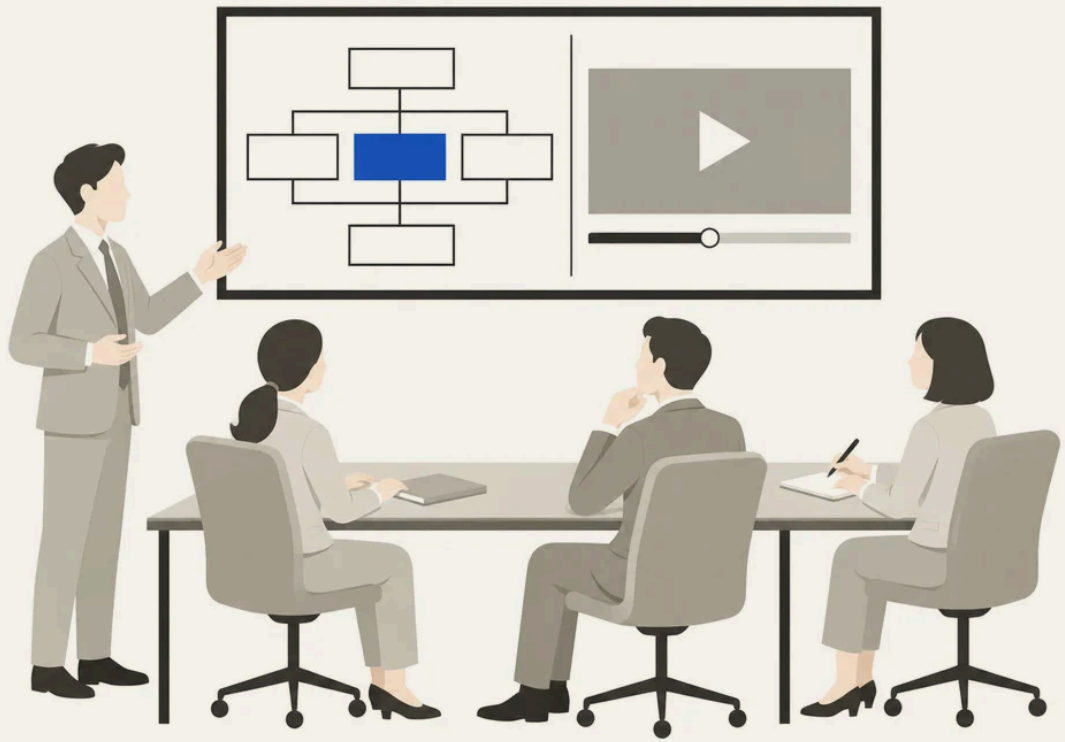
Momentum サービス詳細資料

工数削減の数字に、根拠を。

画面の録画から、作業ごとの時間と、
その根拠になる作業映像を出します。



株式会社Washoi　2026年11月

経営会議の悩み

聞き取りで作る工数表は、記憶をもとにしています。
記憶の数字では、経営会議で削減の根拠を示せません。



聞き取り：記憶をたどって答える

この答えが、そのまま工数表に載る



経営会議：記憶の数字では、答えられない

会議で根拠を示せる

Momentum があれば、経営会議で削減の根拠を問われても、その作業の映像を見せて答えられます。

いま



根拠を問われて、話が止まる

Momentum があれば



映像で根拠を示して、直す作業を決める話へ進む

手に入るもの

1ヶ月・200万円（税別）で、根拠つきの改善案が手に入ります。作業ごとの時間と、根拠となる実際の作業映像もそろいます。

根拠つきの改善案

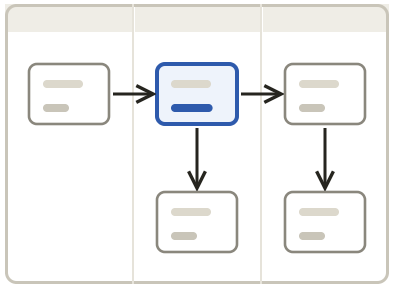
削減の見込みまで

200万円

で、手に入ります

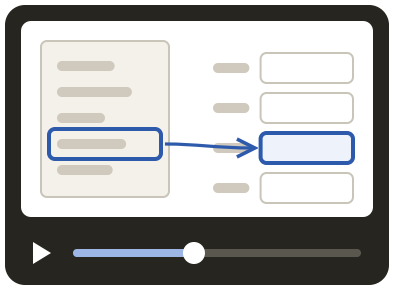
期間 1ヶ月　・　税別

改善案に、根拠として付くもの



業務フロー図

作業と受け渡し
作業ごとの時間

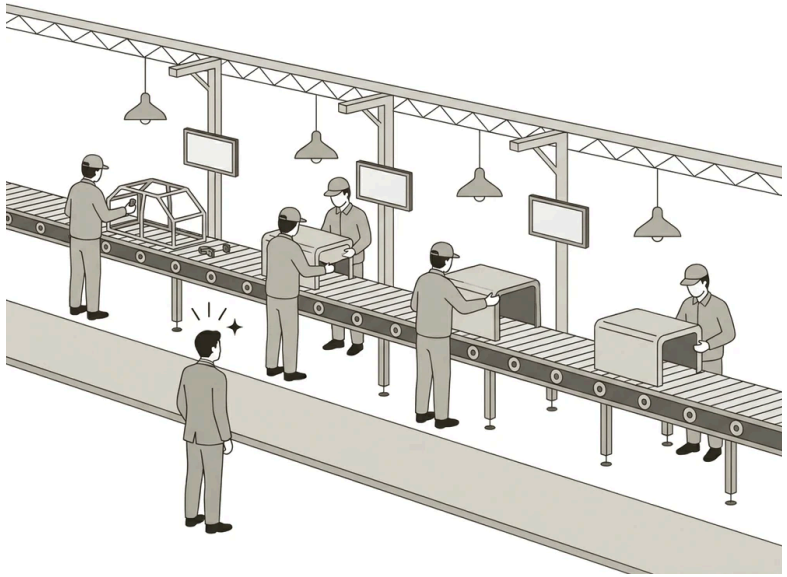


根拠の作業映像

数字の元の場面

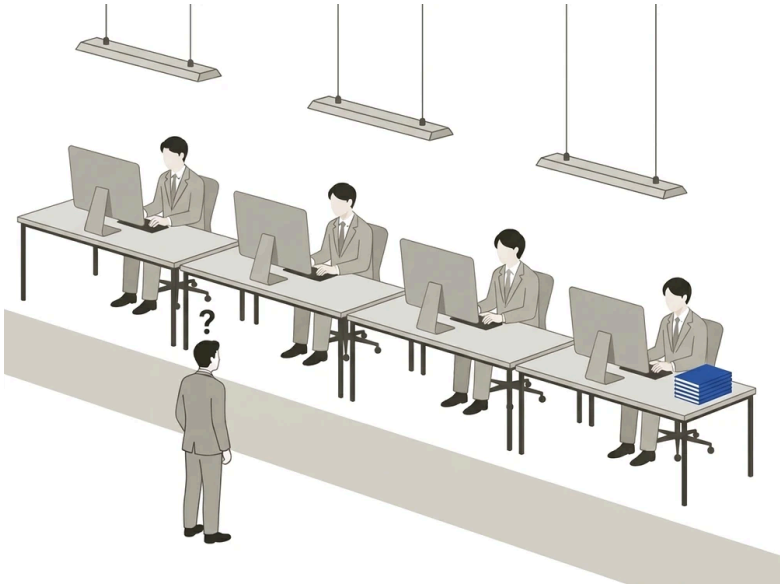
過程と結果の見え方

デスクワークは、仕事の結果は見えても過程が見えません。
過程が見えないため、改善は試行錯誤に頼るしかありません。



工場のライン　過程 ○ 見える　結果 ○ 見える

改善は　見て、その場で直せる



デスクワーク　過程 × 見えない　結果 ○ 見える

改善は　試行錯誤に頼るしかない

現場で過程を見る理由

トヨタもイーロン・マスクも、仕事の過程を現場で直接見ます。報告だけでは、正しい判断ができないからです。

報告で知る



報告書だけを読む

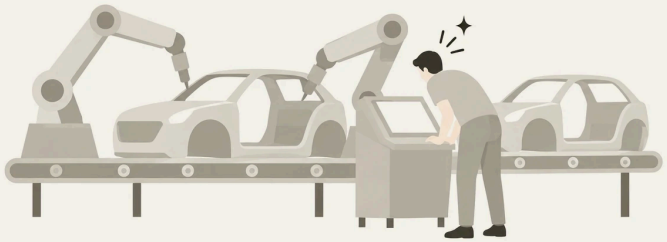
× 報告だけでは、正しく判断できない

現場で見る



トヨタ 現地現物：工場の現場で見る

40以上の工場を4年かけて調べた研究では、強さは設備ではなく、現場へ行って過程を詳しく見て、その場で直す習慣にあった（ハーバード・ビジネス・レビュー）。



イーロン・マスク Model 3 の増産

Model 3 の増産期に、組立ラインを自分で見て回り、問題をその場で直した（伝記より）。

Momentum は、デスクワークの仕事の過程を見えるようにします。
現場はいつもどおり働き、パソコンの画面を録画します。



現場は、いつもどおり働くだけ

画面を、1秒に1フレームで録画する



フレームを並べると、仕事の過程が見える

どの画面で、何に、どれだけ時間をかけたか

録画は、パソコンの中に保存

録画アプリが、どこかへ送ることはない

業務フロー図

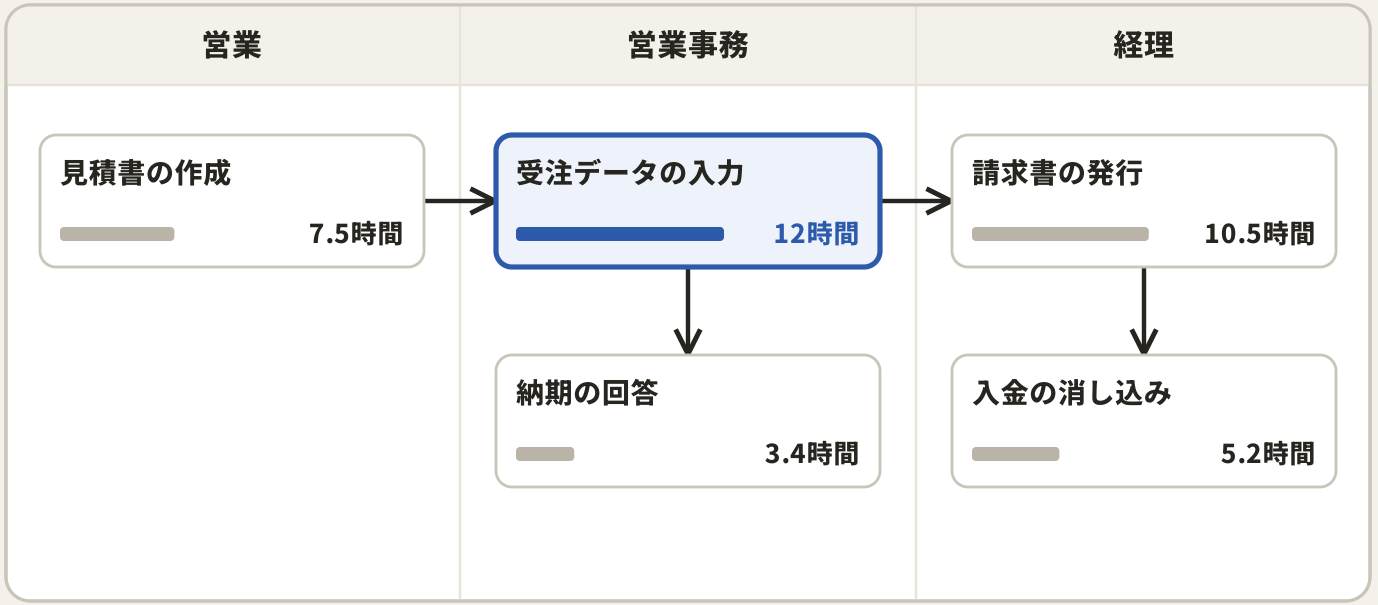
Momentum は、画面の録画を解析して1枚の業務フロー図にします。図には、作業ごとの時間と、担当をまたぐ受け渡しが載ります。

いま



作業の時間と受け渡しは、
担当ごとの記憶の中

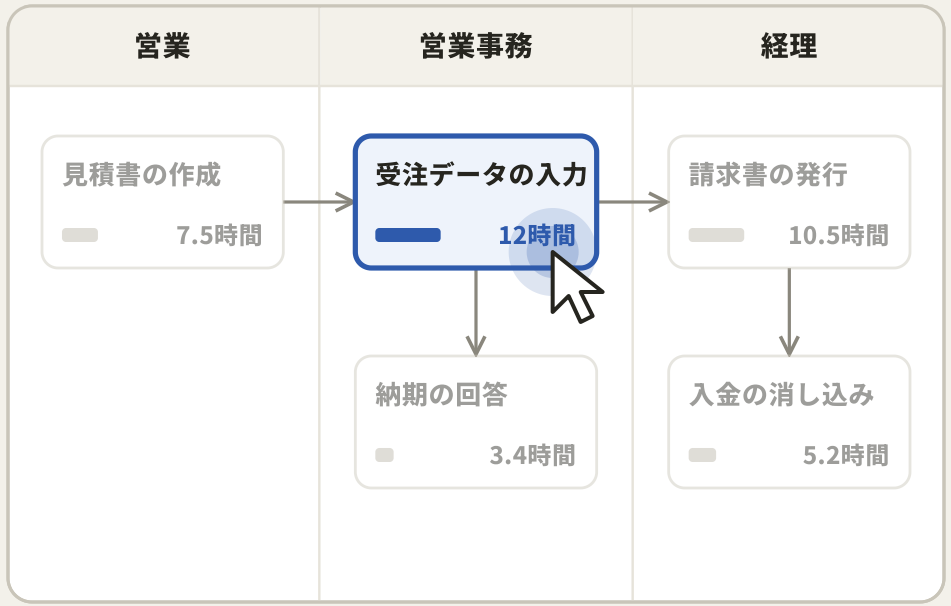
Momentum があれば



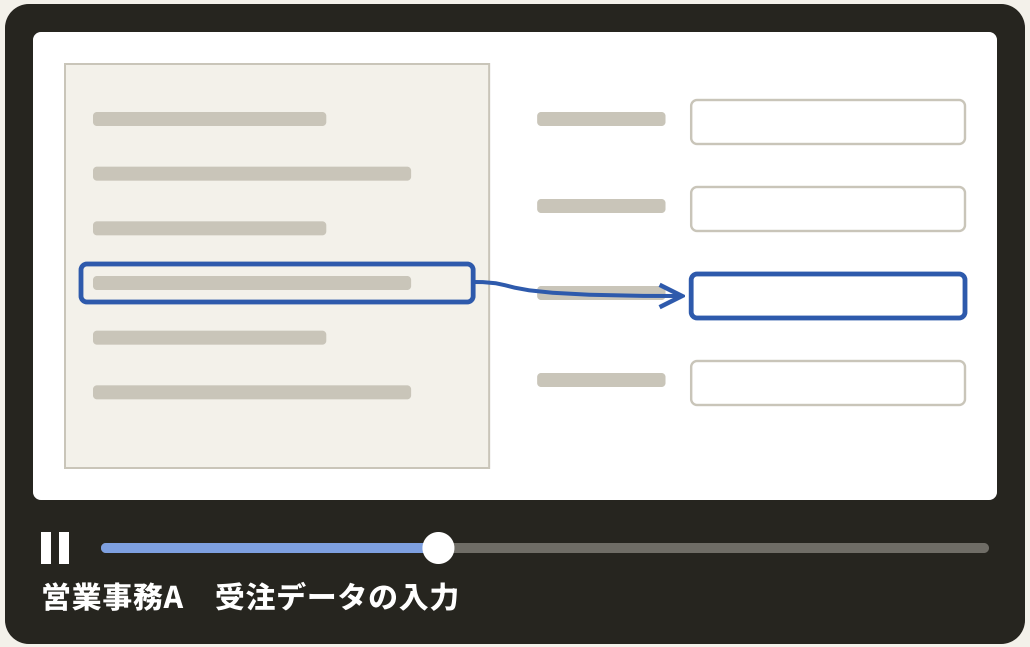
作業映像の再生

業務フロー図の各作業を押すと、実際の作業映像が再生されます。経営会議で根拠を問われても、すぐに映像を見せられます。

1 業務フロー図の箱を押す



2 その時間の作業映像が流れる



見積書の数字を、受注データへ手で写している場面

根拠の範囲

録画の時間は、作業・作業未定・業務外の3つに分けて示します。
どこまでが録画で確かめた数字かが、会議の前に分かります。



300時間　作業が決まった時間　79%

作業未定　19時間　5%
近い作業に入れず、分けて残す

業務外・離席
61時間　16%

録画の外は数えない
口頭・会議・紙・待ち時間

録画の合計　380時間

根拠つきの改善案

改善案は、Momentum が業務フロー図と作業映像から出します。御社は改善案を見て、直して、採用する案を決めます。

業務フロー図



作業映像



Momentum

Momentum が出した改善案　アイデア1

見積書の数字を、受注データへ自動で写す

減る時間 **月40時間**

根拠

図の箱
受注データの入力　12時間

作業映像
手で写している場面　3本

アイデア2　請求書の宛名と明細を、受注データから入れる　月7時間

削減の見込み

改善による削減時間の見込みは、計算式まで示せます。
会議の全員が同じ式を見て、誰が計算しても同じ値になります。

いま



計算のしかたは、作った人しか知らない

Momentum があれば

	録画した3人×5日で、受注の入力は	12時間
÷ 15人日	1人1日あたりに直すと	0.8時間
× 3人	営業事務3人ぶんにすると	2.4時間
× 20日	1か月の営業日20日ぶんで	48時間
× 100%	改善案で、この時間がなくなるとして	48時間
− 6時間	残る確認と例外の対応 録画で見た	42時間
− 2時間	新しい手順にかかる時間 推し量った	40時間
＝	減らせる時間	月40時間

会議の全員が同じ式を見て、誰が計算しても同じ値になる

導入事例

コールセンター大手は1ヶ月で50件の根拠つき改善案を得ました。6か月で最大1,200万円を成果を生む仕事へ振り向ける見込みです。



コールセンター大手

20人の画面を録画

1ヶ月：録画から改善案まで

800時間
録画

→

100作業
見えた作業

→

50件
根拠つきの改善案

6か月：改善を実行して削減

→

3,000時間
6か月で削減

→

人件費を振り向けられる額
最大1,200万円
成果を生む仕事へ

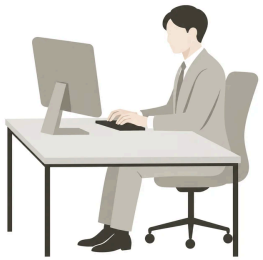
向いている業務

Momentum は、パソコン作業が半分を超える業務に向いています。
録画できない紙や対面の仕事が多い業務には向きません。

向いています　パソコンの前の仕事が多い業務



経理



営業事務



コールセンター

✓ パソコンで受ける電話や Web 会議も、録画できます

✓ 社内のシステムとつなぐ作業は、要りません

向きません　パソコンから離れた仕事が多い業務



紙の書類の処理



対面の接客

× パソコンから離れた仕事は、録画できません

導入の流れ

1週目に、10人がいつもどおり働きながら画面を録画します。2週目に業務フロー図、3〜4週目に根拠つき改善案がそろいます。

	録画の前	1週目	2週目	3〜4週目
現場		10人が5営業日、いつもどおり働く		
御社の担当	10人を選び、撮ることと目的を現場に知らせる		図を見て、作業の名前と切り方を直す	改善案を見て直し、採用する案を決める
弊社	改善案を決めるまでの伴走			
手に入るもの			◆ 業務フロー図と作業ごとの時間	◆ 根拠つきの改善案と削減の見込み

料金体系

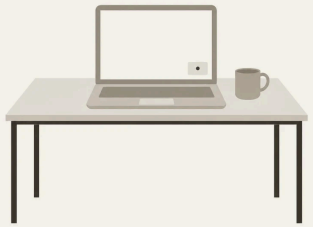
録画から改善案までの1ヶ月は、200万円（税別）です。
アプリ使用料や解析・伴走も含み、追加の費用はかかりません。

録画から改善案までの1ヶ月

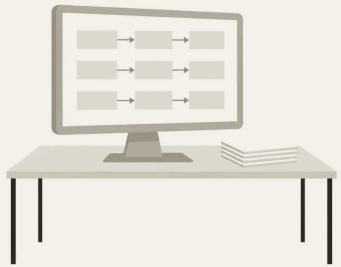
200万円（税別）

追加の費用は、かかりません

料金に含むもの



録画アプリの使用料



録画の解析と、
業務フロー図の作成



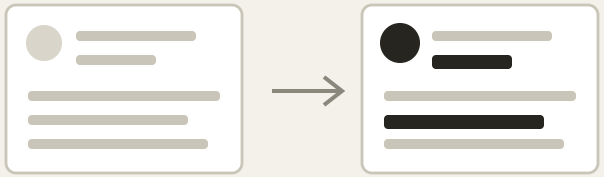
改善案を決めるまでの伴走

選べる（無料）

マスキング

顔と機密の文字を、塗りつぶしてから分析する

塗りつぶした分だけ情報が減るので、分析の精度が下がることがあります。
守ることと精度のどちらを優先するかは、御社が決められます。



現場との約束

録画を監視にしないために、御社が現場と2つを約束します。
録画前に周知することと、録画を人の評価に使わないことです。

監視になるとき



× 隠れて見る



× 人を裁くために見る

御社が現場と約束すること



1 撮る前に、撮ることと
目的を知らせる



2 録画と業務フロー図を、
人の評価に使わない

知らせて、仕事を良くするために見るなら、監視ではありません

録画データの扱い

録画データは、御社のパソコン内に保存します。
クラウド AI に送るのは、分析時の画面の画像と文字だけです。

社内：御社のパソコン



録画は、パソコンの中

録画アプリは、どこへも送らない

ここから社外

分析のとき、
画面の画像と文字だけ

✕ 動画は
送らない

✕ 音声は
送らない

クラウドの AI

OpenAI か Anthropic
学習に使われない
保存は最大30日

基本：御社が自分で分析し、弊社が伴走する

分析を弊社に任せるとき

- 弊社が用意するクラウドストレージで受け取る
- 弊社のパソコンに置く
- 納品の1ヶ月後に消す

まず30〜60分のご相談で、Momentum が向く業務かを確かめます。セキュリティ確認に必要な回答一式は、弊社が用意します。



1 ご相談

30〜60分。オンラインまたは訪問で、向き・不向きと、対象の業務を確かめます

2 情報システム部門の確認

セキュリティの回答一式は、弊社が用意

3 お申し込み

申込書と、準備の予定表

4 録画の前の準備

現場への知らせ方のひな形と、録画アプリの入れ方

5 1ヶ月のパッケージ

録画から改善案まで

まずは、ご相談から

ご相談のフォームへ →